



上村松園「鼓の音」昭和15年（後期）

# 清らかな 世界を 想い描く

上村  
松園  
松篁  
淳之  
三代展

## 前期 「四季に詠う」

平成29年

10月1日(日) ▶ 12月17日(日)

## 後期 「生命の詩」

平成30年

1月5日(金) ▶ 2月4日(日)

● 前期・後期で展示替え致します

◆ 館長上村淳之による 美術講演会  
(展示室にて開催)

10月14日(土) 14:00 ~ 15:00

※聴講は無料ですが、別途入館券が必要です。

席に限りがございますので、混雑時はお立ち見になる  
可能性がございます。



上村松篁「鶏」昭和48年（前期）



上村淳之「三」平成15年（前期）

● 休館日

月曜日（但し、10月9日[月・祝]、1月8日[月・祝]は開館、  
翌日の10月10日[火]、1月9日[火]は休館）

● 開館時間

午前10時～午後5時（入館は午後4時まで）

● 入館料

大人（高校生・大学生を含む）820円 / 小・中学生410円

※20名以上は団体割引（1割引）

※障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引



【主催】公益財団法人 松伯美術館・読売新聞社



松伯美術館  
SHOUHAKU ART MUSEUM





上村松園「楊貴妃」大正11年(前期)

四季に  
詠う



上村松篁「月夜」昭和14年(前期)



上村松篁「蓮」昭和56年(前期)



上村淳之「月」「夕日に」昭和56年(前期)

理想の女性像を描き続けた松園は、女性の内なる強さや美しさを優美で清澄な世界に描きだしました。松篁の鳥や花に対する慈愛に満ちた視線は、穏やかで静かな作品を生み出します。多くの鳥に囲まれて日々を過ごす淳之の花鳥画には、四季折々に見せる鳥たちの和やかな世界や、厳しい自然界の宿命を背負いながらも懸命に生きる鳥たちの生きざまが美しく描かれています。松園、松篁、淳之の三人がそれぞれに追求した理想の世界は清らかで美しく、観る人々をその世界に誘います。松園、松篁の制作の過程を知ることのできる下絵や素描とともに紹介します。

生命の詩



上村松園「娘」大正15年(後期)



上村松篁「春雪」昭和57年(後期)



上村淳之「梅薫る」平成22年(後期)



上村淳之「月汀」平成10年(後期)



上村淳之「四季花鳥園」大阪新歌舞伎座銀座原画 平成22年(近鉄グループホールディングス株式会社蔵松伯美術館管理)(全期間)

松伯美術館  
友の会

会員を募集しております。  
皆様のご入会をお待ち  
しております

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号

TEL. (0742) 41-6666/FAX. (0742) 41-6886

<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/shohaku/>

割引入館券を近鉄主要駅にある  
駅営業所にて発売中!

※ 学園前駅では販売していません。

◆販売期間：平成29年9月25日(月)～平成30年2月4日(日)

◆割引入館料：大人(高校生・大学生含む) 650円/小・中学生 320円

【交通のご案内】

近鉄奈良線「学園前駅」北口  
バスターミナル⑤⑥番のりばより  
バスで5分

「大洲橋(松伯美術館前)」下車  
大洲橋を渡った右側。

※ 駐車台数に限りがあるため  
できるだけ 電車・バスで  
お越しください。

